

町田市バイオエネルギーセンター火災の経過報告について

町田市バイオエネルギーセンター不燃・粗大ごみ処理施設内（以下、「処理施設」）で発生した一連の火災について、2022年6月の行政報告以降の処理施設の復旧・対応状況及び再発防止対策工事の概要について報告します。

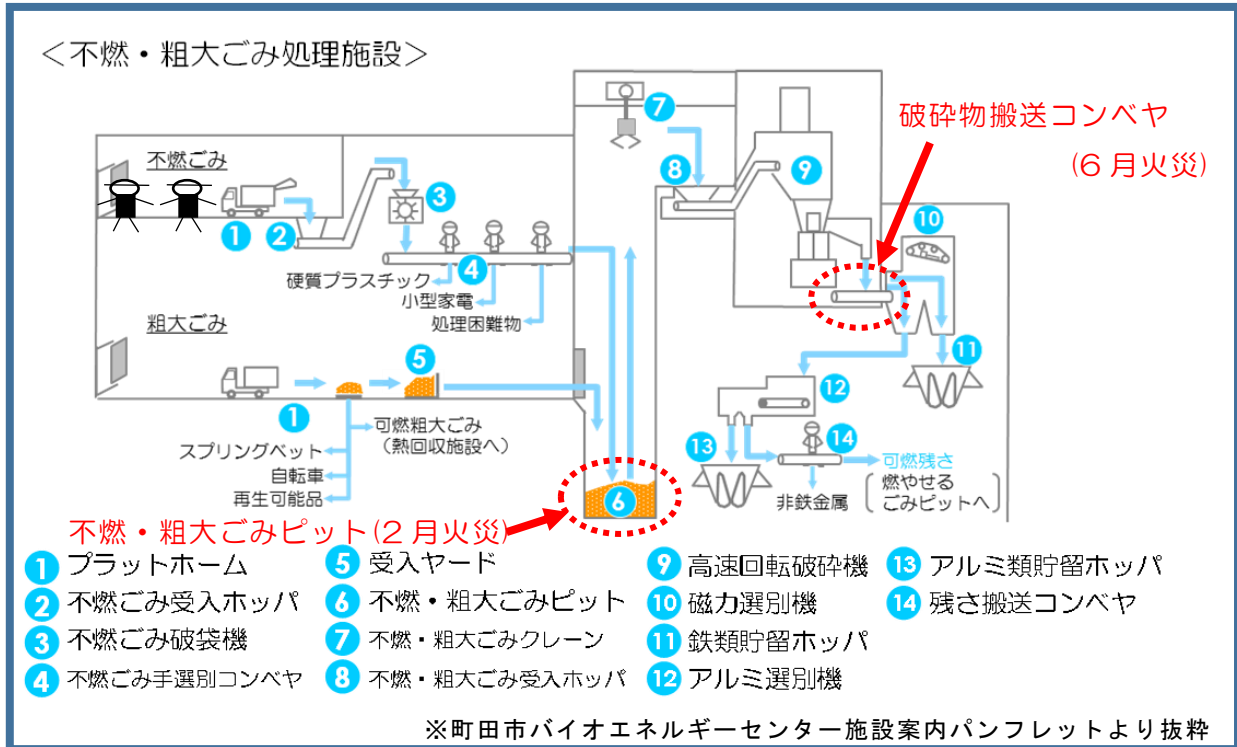


図1 不燃・粗大ごみ処理施設のフロー図と火災発生場所

1 火災発生後の市の対応

施設運営においては、発火の恐れがある異物への対応を強化し、安定してごみ処理が出来るよう努めている。また、市民の皆様に向けて、広報紙等を通して適正排出のお願いを積極的に行った。

(1) 施設運営における対応

- ・荷卸した床面（図1①）や2か所ある手選別コンベヤ（図1④⑭）でこれまで以上に異物除去を強化している。（④には一時的に2名作業員を増員）
- ・消火器を手選別コンベヤ近傍に、作業員がすぐに消火出来るよう5本追加配置した。
- ・小型充電式二次電池の行政回収を7月から開始した。（ごみ収集課）

(2) 市民の皆様に向けた情報発信

- ・発災直後からホームページで火災の報告を行った。
- ・町田市バイオエネルギーセンター施設見学来場者に、「発火する恐れのあるごみ」の展示物の説明を実施している。
- ・広報まちだ（5月15日号）で、火災報告及び主な被害と復旧の見通し、発

火する恐れのあるごみの分別のお願いを掲載した。

【市民の皆様に向けた主な情報発信の経過】

- 3月22日 施設見学再開
- 5月12日 J:COM テレビ中継（生放送）
- 5月15日 「広報まちだ」掲載
- 7月15日 環境広報紙「ECO まちだ」掲載
- 8月1日 環境広報紙「ごみナクナーレ特別号」



2 破砕物搬送コンベヤの火災（2022年6月発生） における対応状況

（1）被害状況

No.1 破砕物搬送コンベヤの火災では、高速回転破砕機（図1の⑨）で破砕された不燃・粗大ごみを次の工程に運ぶコンベヤで火災が発生し、コンベヤのベルト（難燃性ゴム）が損傷した。損傷の状況は写真のとおり。



写真1 コンベヤ損傷状況①

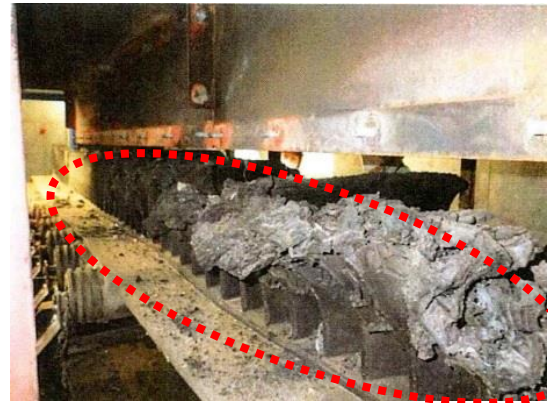


写真2 コンベヤ損傷状況②

（2）復旧した日 7月29日（金）

（3）復旧工事の内容

- ①被災部近傍のフレームを塗装し再使用
- ②搬送用ゴムベルトの全周交換
- ③被災部近傍のベルトを支えるローラー類、軸受類交換
- ④その他被災部近傍の外板パネルやボルト類を一式交換

（4）6月発生火災に関する再発防止策

散水範囲を拡大するため、コンベヤ投入口付近に自動散水ノズルを増設。
（既存7箇所の散水ノズルに加え、コンベヤの両サイドに各10箇所及び高速回転破砕機の落ち口の直近に1箇所増設）